

えひめ水産イノベーション事業 ～研究成果通信～ No.1

発行:公益財団法人 えひめ産業振興財団 えひめ水産イノベーション創出地域
TEL089-960-1153 FAX089-960-1105 平成28年4月6日(水)発行

この『研究成果通信』は、文部科学省の補助事業である「地域イノベーション戦略支援プログラム」により、平成24年7月からこれまでの間、愛媛大学南予水産研究センターに招へいた研究者が宇和海の水産業の活性化を図るために取り組んだ研究の成果を広くお知らせするためのものです。
今年度10回程度の発行を予定しており、初回は「赤潮研究」に関する成果をお知らせします。

ICT等を利用した海域情報ネットワークによる赤潮・魚病対策技術の研究開発(赤潮) 愛媛大学南予水産研究センター 准教授 清水園子(代表研究者 准教授 太田耕平)

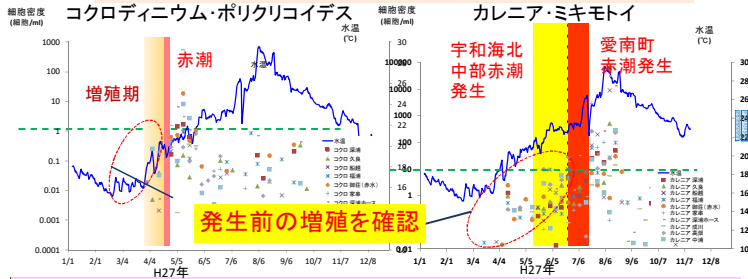
愛媛県宇和海域は、養殖業が盛んに行われているが、養殖現場において多発する赤潮と魚病は、計画的な養殖生産を妨げる重大な要因である。

そこで、ICTを利用して生産者へ警報や注意報として情報発信するとともに、生産者からシステムへ提供された養殖魚や海洋環境の情報をフィードバックする『**双方向の水産コミュニケーションシステム**』を、生産者・愛媛大学・宇和海周辺の自治体が連携して構築することにより、赤潮・魚病被害の防止及び軽減を図るための早期対策に繋げる。

有害赤潮プランクトン高感度早期検出システムの開発

(遺伝子解析による高感度検出手法の特許出願2014-21749)

愛南町における赤潮プランクトン遺伝子の推移



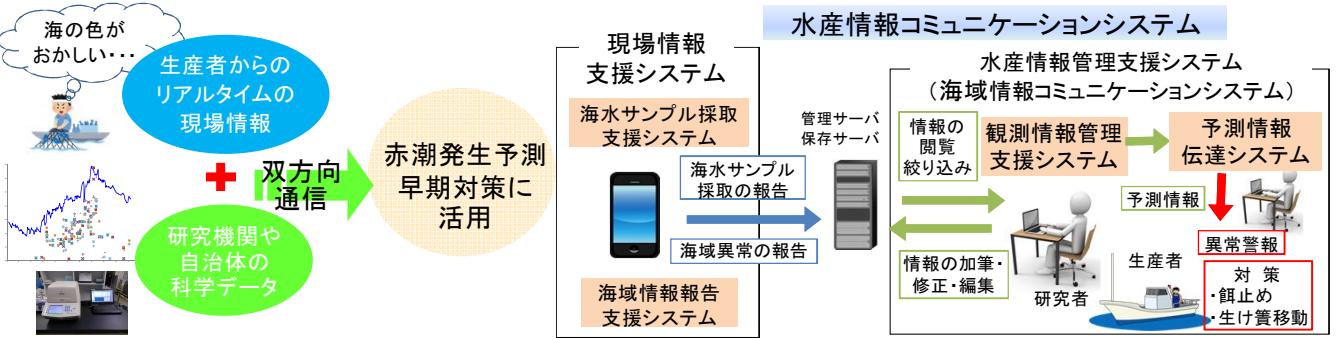
赤潮発生前の増加を確認→中期的な発生予測成功!

情報発信

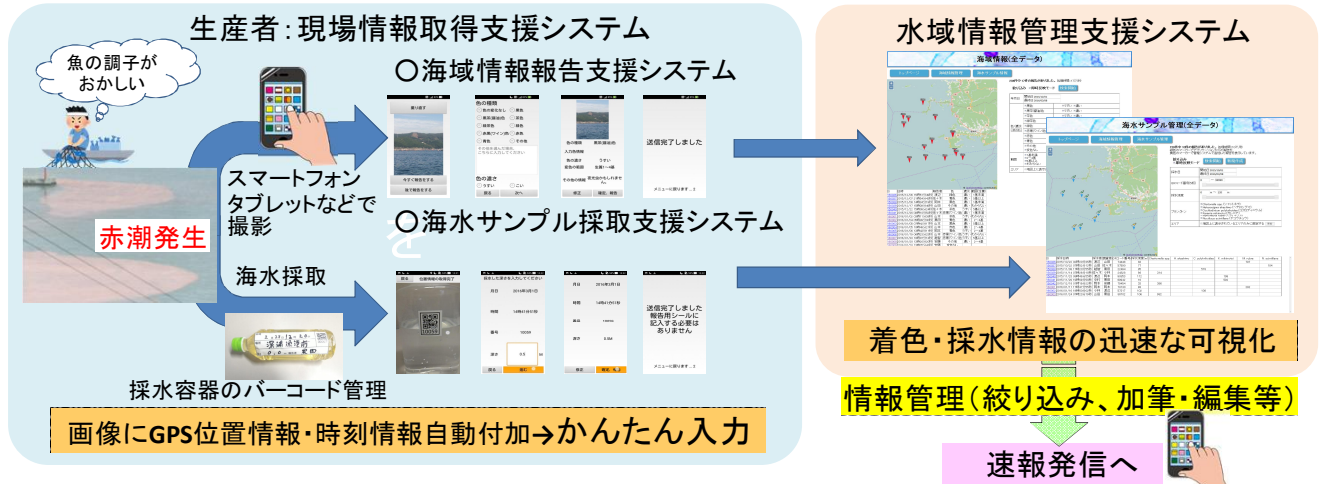


早期対策による被害の減少

発生予測精度向上のために～水産情報コミュニケーションシステムの構築～



双方向通信を利用した赤潮に関する水産コミュニケーションシステムの開発



本研究課題は、文部科学省・地域イノベーション戦略支援プログラムと総務省・SCOPE・地域ICT振興型研究開発(愛媛大学大学院理工学研究科情報工学コース小林真也教授、黒田久泰准教授、樋上喜信准教授、遠藤慶一講師らとの共同研究)により実施しております。

この研究へのお問い合わせは愛媛大学社会連携推進機構吉田則彦教授(089-927-8581)まで